

次期将来推計人口にむけた議論の進め方について(案)

- 令和2年に実施された国勢調査(5年に1度)の人口等基本集計結果が本年11月に公表される予定である。これを踏まえ、国立社会保障・人口問題研究所が行う次期将来推計人口の考え方や推計前提について検証・検討を行うことを目的として人口部会を開催する。
- これまでと同様のスケジュールによれば、本年夏頃から議論を開始し、来年の春頃までには推計結果を取りまとめることとなるが、今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い「2020年国民生活基礎調査」が中止となり、同時に実施される予定であった「出生動向基本調査(※)」の実施が1年延期されている(今年6月から実施中)。 (※)将来推計人口の基礎データとして使用
- このため、次期将来推計人口の推計作業は、早くても通常より概ね1年遅れとならざるを得ないと考えられる。人口部会における議論もこうしたスケジュールを念頭に、出生動向基本調査の集計状況も踏まえながら、来年夏頃より、次期将来推計人口の考え方や推計前提についての議論を順次進めていくこととしたい。

